

## 新中学校校歌について

R3.12.23 第 17 回下田市立学校統合準備委員会

### 1 ミマス氏について

- ・平塚市在住の音楽家で下田市にも度々訪れており、自然を愛し、宇宙や自然、世界をテーマに作曲活動をしている。公立学校の校歌、愛唱歌を作成した実績。
- ・ミマス氏が作詞作曲した「COSMOS」は、「合唱界における 21 世紀最初のヒット曲」と言われており、下田市を含め、全国の小中学校で合唱されているとともに 2018 年の小学校 3 年生の道徳の教科書にも歌詞が掲載されている。
- ・音楽ユニット「アクアマリン」としての活動の他、小中学校での授業や講演活動も行っている。
- ・主な楽曲 「COSMOS」「地球星歌」「一つの明かりで」「いつかこの海をこえて」など

### 2 校歌に関するスケジュール

時 期	内 容	備 考
R2.8.6	ミマス氏へ新中学校校歌作詞作曲依頼	
R2.9.2	第 12 回下田市立学校統合準備委員会	新中学校校歌について ミマス氏への作成依頼、スケジュール等
R2.9.28	ミマス氏と新中学校校歌作成に関する打合せ	校歌作成全体計画、小中学校交流事業等
R2.10.15	第 1 回校歌検討プロジェクト会議	教育長、学校教育課長、参事、磯崎音楽科担当校長、渡邊教諭、三室教諭、川合元校長
R2.11.17 ～11.18	ミマス氏下田訪問及び 第 2 回校歌検討プロジェクト会議(R2.11.17)	校歌作成全体計画、小中学校交流事業、校歌構成、アンケート等
R2.11.24 ～12.4	新中学校校歌アンケート	対象：小5～中3 内容：下田の良い所や下田への思い等を集約
R2.12.18 ～12.19	ミマス氏小中学校交流事業及び 3 学期小中学校交流事業に係る会議(R2.12.18)	交流校：白浜小、浜崎小、稲生沢中
R2.12.21	第 13 回下田市立学校統合準備委員会	新中学校校歌について 小中学校交流事業、アンケート実施等
R3.1～3	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から ミマス氏小中学校交流事業を翌年度に延期決定	
R3.3.16	第 14 回下田市立学校統合準備委員会	ミマス氏小中学校交流事業延期について報告
R3.4	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から ミマス氏小中学校交流事業を中止決定(下田市校長会)	
R3.6.3	第 15 回下田市立学校統合準備委員会	ミマス氏小中学校交流事業中止について報告
R3.7.13	ミマス氏と新中学校校歌作成に関する打合せ	校歌原案完成時期、校歌受領方法等
R3.8	ミマス氏から校歌原案受領	校歌原案受領後、渡邊教諭により、ピアノ伴奏等編曲作業
R3.9.6	第 3 回校歌検討プロジェクト会議	校歌編曲内容等確認
R3.9.7	統合推進部会(下田市校長会)	校歌編曲内容等確認
R3.11.24	第 4 回校歌検討プロジェクト会議	校歌公表等について
R3.12.23	第 17 回下田市立学校統合準備委員会	校歌公表、報告、承認
R4.4.13 (予定)	新中学校開校式にて新中学校校歌披露	開校式へミマス氏招待予定

### 3 ミマス氏による校歌への思い

#### ○『青く美しき われら下田の海』

⇒『海』を新校歌に入れたいという声は非常に多く、また下田市にとって最重要ワードであると思われることからいちばん最初に置きました。

また、皆さんの声から下田は『地域の繋がりが強く、年齢や世代にかかわらずみんなが家族のように大切にしている』という雰囲気強く伝わってきましたので、一つの中学校という枠を超えて地域の皆さん全体にとっての大切な海なのだというニュアンスを『われら下田』という言葉で表しています。

#### ○『清き山川 恵みにあふれ』

⇒皆さんの声の中には『山』『川』『森』『水』『田んぼ』『緑』『紅葉』『イチョウ』『星空がきれい』『きれいな空気』『ホタル』『鯉』『野生動物』などあらゆる自然に関するワードも多くあったため、これらを『清き山川』という言葉に集約しています。これを『海』の直後に置くことで、下田の素晴らしさは海だけではない、他にもたくさんあるのだということ表現しようとしています。

また『鮎』『ウナギ』『ミカン』『椎の実』『稲作』『米』『野菜』『わさび』『キノコ』『海藻』『おいしい食べ物たくさん』『キンメ』『イセエビ』『アワビ』などの産物に関するワードも多く、こちらは『恵みにあふれ』という言葉に集約しています。

#### ○『寝姿山に 四季の息吹映えて』

⇒皆さんの声の中に『寝姿山』が予想以上に多かった印象を受けたので入れてあります。また『四季』は統合する『4つ』の中学校を暗喩しており、この一行は市の中心部にそれぞれの地域性・個性を持ったお子さんたちが集い、お互いにその魅力を引き立て合うということを表しています。

『下岡蓮杖』さんの名前も少なからず挙げられていました。これをそのまま校歌に入れるのは難しいのですが、美しい自然の風景に目を向けることは『写真』のスピリットに通じるのでこの一行にはそのような意味合いも含めています。

#### ○『いずる理想を 空に掲げん』

⇒『伊豆』を入れたいという声も複数あり、また個人的にも入れたいと思いましたのでここに入れてあります。以前、地名学の本で『伊豆は海に向かって突き出した半島であることから“出す”という言葉が転じてこの地名となった』という説を呼んだことがあり、本当かどうか分かりませんが興味深い話だとは思っています。そこで『伊豆』と『出ず』をかける形で入れました。

#### ○『友よ学ぼう 黒潮に夢乗せて いつか船出を 祝う日のため』

⇒『友よ』『学ぶ』『黒潮』『夢』などのワードもありましたのでここに入れてあります。また、個人的には中学校の3年間というのはこれから社会という大海原に出るための大切な準備の期間だという思いがあるため、『いつか船出を祝う日のため』というフレーズを入れてあります。

#### ○『ああ三年を とともに憩う港』

⇒『ああ〇〇』というフレーズを入れたいという声があったので、それもいいなと思い採用しました。

『ともに』は僕がぜひ入れたいと思った言葉です（アンケートにもありました）。『憩う港』については、個人的にはお子さんたちが心から安心して穏やかに生活できる環境が学校教育の基本だと思うのでこのような表現にしてありますが、『学校は休むところではない、ケシカラン』という声があるようでしたら『憩う』ではなくて『過ごす』とか『集う』などに置き換えてもOKだと思います。

#### ○『誇り気高き 下田中学』

⇒校名を歌詞に入れるかどうかはどちらでもそれぞれの良さがあると思いますが、入れたいという声もあったので入れてあります。僕は入れた方がいいと思いました。

『誇り気高き』の部分は『われら気高き』でも『われらの誇り』でもメロディには合うと思います。『誇り』を入れたいとの声があったので入れてあります。

また、『下田中学校』は『下田中学』としてもメロディに合います。これはどちらでもそれぞれ良いと思います。『中学校』よりも『中学』の方が少し大人な雰囲気かもしれません。

#### ○『花と歴史は わが町に開きて』

⇒『水仙』『あじさい』『桜』という下田の3大フラワーはたいへん希望が多かったので『花』という言葉に集約しています。『下田は気候が温暖なので桜がよその土地よりも早く開く』という声にインスピレーションをもらい、『他の所よりも早くいちばん先に開く』というのが下田の歴史のようだと感じ、花と歴史を『開く』という言葉でかけるアイデアを思いつきました。また、『ペリー（ロード）』『黒船』『了仙寺』『茶々丸』『開国』『民宿発祥の地』『ジオパーク』『なまこかべ』『サスケハナ』『今村伝四郎正長』『和親条約』『プチャーチン』などのワードもこの『歴史』という言葉に集約しています。

#### ○『満ちる希望に 朝日は光る』

⇒『希望』も多かったです。『光』もありました。『満ちる』は後述するように白浜小の校歌の『満つ』や下田東中の『満つる』から持ってきています。

#### ○『入江のように 寄する波迎えて 岬のように 世界を目指せ』

⇒『入江』と『岬』が対句です。入江は『深く寛大に内に迎え入れる』こと、岬は『外の世界に勇気を持って飛び出すこと』をシンボライズしています。

僕が下田の歴史のエピソードで特に好きなのが、『黒船が来たときに庶民の人たちは異国から来た人々に興味を示し、幕府の役人が禁ずるにもかかわらず勝手に交流を始めた』という話です。そのようなキュリオシティ、ホスピタリティ、懐の広さというのが下田の素晴らしきスピリットであり、お子さんたちにはそれを受け継ぎ末永く大切にしてほしいと勝手に考えています。

『吉田松陰』『坂本龍馬』などのワードもありましたが、この2行にその精神を集約して入れたつもりです。

また、ここには『自分の身に起こることを受け容れる強さ』や『他人の言葉に耳を傾ける素直さや謙虚さ』を持ってほしいという願いも込めています。『世界』は『未来』という言葉に置き換えてもOKだと思います（僕はどちらかという让世界のほうが好きです）。

○『友よ語ろう ふるさとの幸せを』

⇒『ふるさと』は狭義には下田市や自分が住む地域、広義には世界や地球を表しています。

○『いつかわれらが 築く日のため』

⇒お子さんたちには『これからの世界を作るのは自分だ』という気概を持ち、勉学・スポーツ・芸術・趣味など様々なことに励んでいただきたいと思います。

○『ああ三年を とともに育つ港』

⇒一番が『憩う』でしたので、2番ではより能動的な『育つ』にしてあります。

\*○皆さんの声の中に、『いろんな学校の子が集まったことを伝える歌がいい』、『各校の校歌の要素を少しずつ入れる』というものが少なからずありました。『Unite』という概念は僕自身も人類の未来にとって最も必要なものだと思っていますし、もしできたら面白いと思って試してみたところできました！この歌詞案の中には、11校の校歌にあるワードが数個ずつ入っています。

稲梓小 ⇒ 花、希望、夢

稲生沢小 ⇒ 清い、夢、学び、清く

白浜小 ⇒ 青く、清く、満つ、学ぼう

浜崎小 ⇒ 学ばん、夢、世界、花、友

下田小 ⇒ 下田、海、希望

大賀茂小 ⇒ 映えて、歴史、学ぶ、黒潮、希望、育つ

朝日小 ⇒ 黒潮、伊豆、清く、花、山、希望、学ぶ

稲梓中 ⇒ 光り、溢る、ふるさと、恵み、清き、春秋三たび、友

稲生沢中 ⇒ 希望、友よ、清き、黒潮、恵、学び

下田東中 ⇒ 海、学び、希望、満つる、ああ、清し、理想、誇り、歴史

下田中 ⇒ 山、清く、友、誇る、歴史、ひらく

\*○歌詞案の中には文語調の言葉もあります。堅苦しさや古さを感じるということでしたら『美しき』→『美しい』、『掲げん』→『掲げる』、『開きて』→『開いて』、『寄する』→『寄せる』などと変えればだいぶ和らぐと思います。

# 下田中学校校歌

作詞・作曲 ミマス

一 青く美しき われら下田の海

清き山川 恵みにあふれ

寝姿山に 四季の息吹映えて

いずる理想を 空に掲げん

友よ学ぼう 黒潮に夢乗せて

いつか船出を 祝う日のため

ああ 三年を ともに憩う港

誇り気高き 下田中学

二 花と歴史は わが町に開きて

満ちる希望に 明日は光る

入江のように 寄する波迎えて

岬のように 世界を目指せ

友よ語ろう ふるさとの幸せを

いつか我らが 築く日のため

ああ 三年を ともに育つ港

誇り気高き 下田中学